

地域医療合同セミナー1

第6回(06/07/2011)
評価とレポートについて

医療人育成センター教育開発研究部門

山本武志

評価のはなし

総括的評価 (Summative Evaluation)

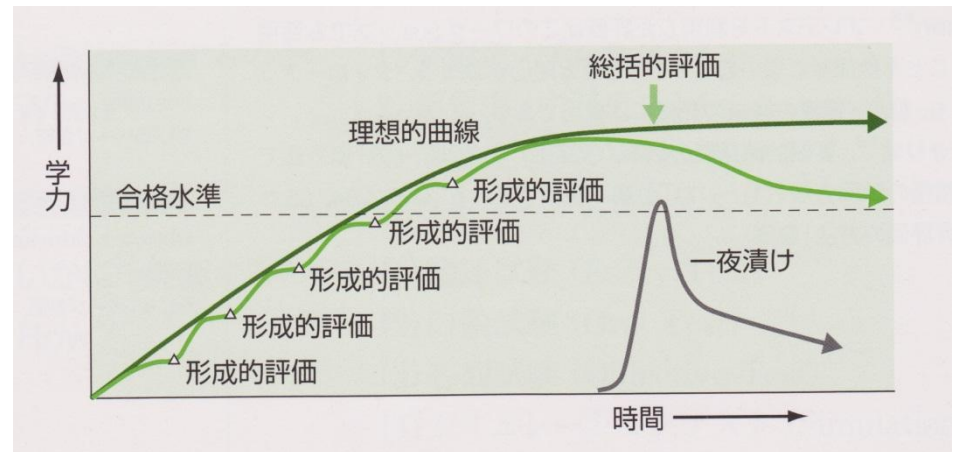
- * シラバス(は見ましたか?)
 - * 医学部
 - * レポート40%、成果発表40%、その他20%
 - * 保健医療学部
 - * 個人得点40%、グループ得点40%、出席状況20%
- * 総括的評価
 - * 学生の最終的な到達度を得点化して評価する
 - * 高校までの評価と同じ

大学生/医療人としての評価

- * 総括的評価の先にあるものは？
 - * 大学ではよい点数をとらなくてよい(?)
- * 「いい医師、看護師、理学療法士、作業療法士」とは・・・
 - * 数量的に得点化されて評価されることはない
 - * なおかつ、学び続けなければならない(医療の進歩・よりよいケアの探求)
- * 形成的評価

形成的評価 (Formative Evaluation)

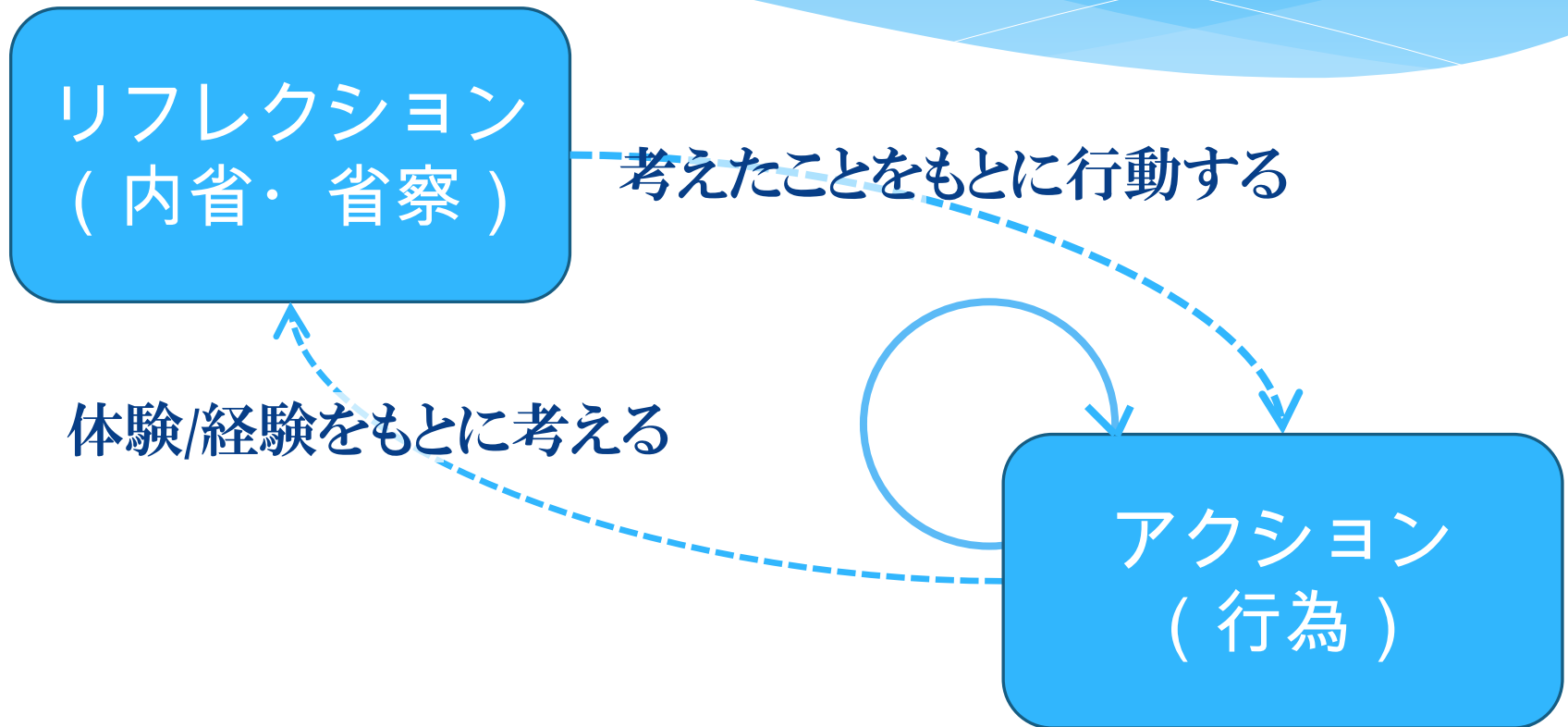
- * 「気づく」ための評価
- * 学習の目標に達しているか、到達していないかとするところとどこが足りないのか学習者が気づくように学習の過程で行う評価
- * 学習過程の改善を目的としている
(日本医学教育学会FD小委員会, 2008)



気づくための方法

- * (山本和利先生・澤田先生・寺田先生の) 講義は楽しかった
 - * 経験→???
 - * そこから何を学びましたか？
- * Reflection (内省・省察)
 - * 「経験によって引き起こされた気にかかる問題に対する内的な吟味および探求の過程。自己に対する意味づけを行ったり、意味を明らかにするものであり。結果として概念的な見方に変化をもたらすもの(田村(訳)2008)」
 - * 「経験はしっかりと内省してはじめて学習になる(中原・金井2009)」
- * 授業という相互行為・コミュニケーションの体験
 - * 振り返りをして、過去の体験や知識と結びつけて意味づけをする

リフレクション(Reflection)とアクション(action) (中原・金井2009)



リフレクション・「気づく」ための仕掛け

- * 授業からの学び:近田(2009)
 - * ノートやメモをとること:思考の整理
 - * ノートに自分のコメントを添えておく(講義内リフレクション)
 - * 復習・予習は「早く」行う:記憶が残っているうちに
 - * 学習の記録を残す
- * フォト・ボイス
 - * 写真→文章化・概念化→他者からの意見
 - * 気づきの過程を促進
- * ポートフォリオ
 - * 4(6)年間を通じて、自らの学習・発達過程を省みるためのツール
 - * 授業での学びに限定しない
- * プロセス・レコード
 - * (看護)実習において受け持ち患者との相互行為を記述し、振り返りをするためのツール

形成的評価・気づき・リフレクション

- * 大学で学ぶということ
 - * 目標が見えにくい（×総括的評価）
 - * 自分で学ばないといけない
 - * 講義内容ではカバーできない医学知識の増大
- * 医療人として学び続けなくてはならないということ
- * 形成的評価の重要性（常に「自分の位置」を確認する）
- * リフレクションをする→気づき→新たなアクションに
 - * ツールを活用する

レポートの書き方

レポートのお作法・テクニック

- * 読ませるための基本的なお作法を学んでおく
 - * 各種「レポートの書き方」に関する書籍を**必ず**一読しておくこと
 - * 小笠原(2002)など
- * たとえば……
 - * 表紙の書き方
 - * 文献引用の方法
 - * フォント
 - * 余白
 - * E-mailで提出する場合

レポートとは

- * 自分が見たり、聞いたり、調べたりした事実を踏まえ、それに対する自分の意見や主張、提言を書くこと (川村・川村2005)
- * よい論文の三原則:「主張が明確である」、「先行研究を批判的に検討している」、「具体例で語る努力をしている」(小笠原2002)
- * あるテーマのもとで問題を立て、それについて論理的・実証的に論述を展開し、最終的に提出した問題に解答を与える (河野2002)
- * ×感想文

テキスト批評(河野,2002)

- * レポート・論文を書くための準備
- * テキストを読んで要約し、そこから自分なりの問題を提起して、その議論を展開させる
 - * 批判的検討能力
 - * 知識、理論、常識をいったん疑い、本当に正しいか確かめる
 - * 問題発見－解決能力
 - * 新たな解決法や対処法を見つけ出していく

レポートの展開

- * テキストの著者の主張：規制緩和は経済を活性化する
 - * 問題提起
 - * 規制緩和は経済を活性化するのか？
 - * さらに規制緩和を続ける必要があるのか？
 - * 意見（肯定・反対）
 - * 規制緩和は経済を活性化させない
 - * さらに規制緩和を続ける必要はない
 - * 根拠（科学的事実を提示する）
 - * 規制緩和して失敗した事例を挙げる

課題設定の違いによる レポートの書き方

- * 読書課題型

- * テキスト批評

- * 体験型

- * 事前学習－体験－リフレクション

- * 体験を通して何を学んだか(事前学習と絡めた学び)を記述する

終わりに

- * 今日の講義の内容
- * 「教員が一番に伝えたいことをキャッチしよう」
 - * 「1回の授業で伝えたいメッセージはせいぜい2つか3つ」
(近田2009)

参考文献

- * 学びのティップス:大学で鍛える思考法
 - * 近田政博, 玉川大学出版部, 2009, 4472404016
- * 大学生のための大学生のためのレポート・論文術
 - * 小笠原 喜康 (著), 講談社, 2002, 4061496034
- * レポート・論文の書き方入門 (第3版)
 - * 河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2002, 4766409697
- * 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方
 - * 川村匡由, 川村岳人, 中央法規出版, 2005, 4805825723
- * 「社会調査」のウソ・リサーチ・リテラシーのすすめ
 - * 谷岡一郎, 文藝春秋, 2000, 4166601105
- * 教育評価法ハンドブック:教科学習の形成的評価と総括的評価
 - * B.S.ブルーム, 他, 梶田叡一 (訳),他, 第一法規出版, 1973, 4474041486
- * リフレクティブ・マネジャー:一流はつねに内省する
 - * 中原淳, 金井壽宏, 光文社, 2009, 4334035280
- * 医療プロフェッショナル ワークショップガイド
 - * 日本医学教育学会FD小委員会 (編), 篠原出版新社, 2009, 4884122755
- * リフレクションとは何か—その基本的概念と看護・看護研究における意義, 看護研究, 41, 2008
 - * 田村由美, 津田紀子